

環境マネジメントシステム

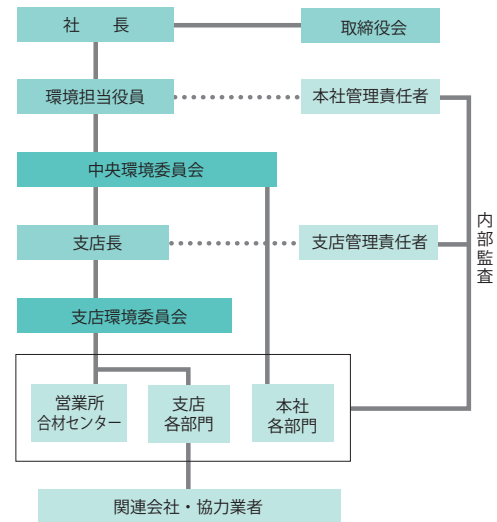
環境マネジメントシステムの外部審査機関による品質／環境マネジメントシステム(ISO9001／ISO14001)の複合審査は、前頁に記載したとおり2017年7月11日～14日に実施されました。

指摘事項は、改善指摘 A 0件(従来のX = 重大)、改善指摘 B 0件(従来のY及びZ = 軽微及び修正)、観察事項0件、充実点3件と良好な結果となりました。

今後も継続して監査及び巡回パトロール時に状況を確認していきます。

2016年度に各支店で実施した内部環境監査の事業所あたりの平均指摘件数は、前年度よりやや減少しました(0.5→0.3)。システムは良好に維持されています。指摘が多かったのは、「順守義務」、「緊急事態への対応」等となっており、環境法令関連の教育・訓練など、引き続き今後も指導を継続してまいります。

環境マネジメント体系図



環境会計

●2016年度環境保全コスト

(単位:千円)

環境保全コスト区分		主な取り組みの内容	2016年度	2015年度
大項目	中項目			
1. 事業エリア内コスト	① 公害防止コスト	大気汚染防止、水質汚染防止、土壌汚染防止、騒音・振動・悪臭防止等	272,780	375,753
	② 地球環境保全コスト	温室効果ガス発生抑制、中温化合材の製造、低公害車採用等	42,169	49,288
	③ 資源循環コスト	節水・雨水利用等のコスト、建設副産物の適正処理対策	1,641,996	2,152,143
2. 上・下流コスト	① グリーン購入に伴う通常購入との差額コスト等	グリーン購入費用、環境配慮型設計提案に係る費用	8,628	13,004
3. 管理活動コスト	① 環境マネジメントシステムの整備・運用のためのコスト	ISO14001の登録・審査費用、運用費、環境関連部門の人件費他	49,802	58,541
	② 環境情報の開示及び環境広告のためのコスト	展示会、環境技術発表会費用、CSR報告書発行費用等	555	1,205
	③ 環境負荷監視のためのコスト	公害防止に関する測定費用	9,073	8,485
	④ 従業員への環境教育等のためのコスト	環境に関する教育・講習等参加、資格取得費用	8,767	6,151
	⑤ 自然保護、緑化、美化、景観保護等のコスト	作業所周辺の美化、清掃活動、イメージアップデザイン	41,366	65,248
4. 研究開発コスト	① 環境関連の研究開発費他	省エネ技術・長寿命化等に関する研究開発費他	54,425	72,581
5. 社会活動コスト	① 環境保全を行う団体等への寄付	NGO、環境関連団体への協賛金、寄付	1,172	1,030
	② 地域住民等との社会的取り組み他	地域での環境教育協力費他	1,971	6,847
6. 環境損傷対応コスト	① 環境の損傷に対応する引当金繰入額他	マニフェスト伝票購入費(基金分)、土壌汚染・自然破壊等の修復費	1,909	3,012
環境保全コスト 計			2,134,612	2,813,287

対象期間：2016年4月～2017年3月

集計範囲：当社～国内の営業所・合材センター・工事現場(元請工事で1億円以上)・技術研究所・技術部

保全コストの算出根拠：全事業所からの全数調査とサンプリング調査の結果を全工事売上に換算することにより算出